

SEITOKU



SCHOOL GUIDE

校長VISION



聖徳大学教育学部教育学科 教授
聖徳大学附属小学校 校長

三須 吉隆

お子さまの6年間を大切に 一生ものの知性と感性を育みます。

今年の春も、6年間で大きく成長した子どもたちが、自ら掴み取った道へ羽ばたいていきました。近年は難関校への進学率が上がり、各方面よりご注目いただいています。他方で、本校の児童が持つ「進学実績」だけでは測ることのできない魅力を改めて感じる日々です。ある集団討議での話です。司会進行役を名乗り出た児童がいました。相手を論破する術も意見も持っています。けれどその児童は、周囲の意見を汲み取り、集団としての答えを導く選択をしました。相手を敬いリーダーシップを発揮する姿に、「頼もしい」の一言でした。新型コロナウイルスは私たちの日常を揺るがしました。しかし同時に、マイナスをプラスに転じる契機でもあったように思います。本校では突然の一斉休校の際、配信授業のほかに、各ご家庭と教員とが電話やオンライン上で毎日つながっていたことで、強固な信頼関係が結ばれました。また、生き抜く力を備える大切さに気づくきっかけにもなったのです。2023年度、本校は「生涯学び続けるチカラ」という言葉を掲げました。従前からの教え方ではありますが、変化に富んだ時代を受け、改めて明文化したものです。本校にお越しの際は、子どもたちの姿にもぜひご注目ください。礼法や明和班活動などを通じて礼儀正しい挨拶ができる「聖徳の子」は、私たちの誇りです。人間形成に大切な6年間、頭も心も育む学舎として、どうぞ安心してお任せください。

建学の精神「和」

未来に生きる 学力をめざして

教科学習

質の高い学習課題を学び合いながら解決し、考えのプロセスを自分の言葉で書いていきます。「本物」の思考力・表現力を授業の中で育てます。

思いやる心 をめざして

礼法教育・明和班

小笠原流礼法師範による週1回の「礼法」授業により、正しい礼儀作法を学びます。また、学年縦割りの「明和班」では、関わり合いの中で相手を思いやる心学びます。

響き合う心 をめざして

総合学習活動

「本物」の文化・芸術に触れる体験や、子ども主体の集会活動によって、豊かな感性や社会性を育てます。学校生活の中で響き合いながら子どもたちは成長していきます。

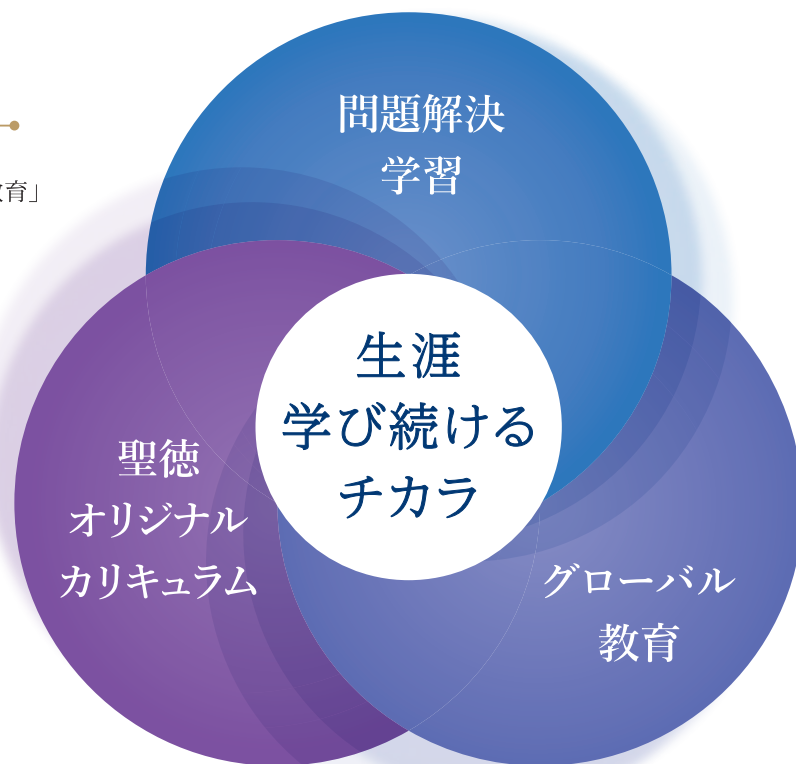
CONTENTS

校長VISION／建学の精神「和」	P01
教育の3本柱／3つのチカラ	P02
6年間の成長＋中学受験サポート	P03・04
問題解決学習＜QOARサイクル＞	P05・06
質の高い基礎学力	
グローバル教育	P07・08

聖徳オリジナルカリキュラム	P09・10
聖徳の年間行事／聖徳の子の一日	P11・12
緑に囲まれた学習環境	
卒業生からのメッセージ	P13
放課後スクール／沿革	P14

教育の3本柱

本校の教育の3本柱は、「問題解決学習」「グローバル教育」「聖徳オリジナルカリキュラム」です。
これらが有機的に結びつくことで
「生涯学び続けるチカラ」を育みます。



3つのチカラ

コース別授業、勉強合宿、各種検定、問題解決学習、一輪車、和太鼓、明和班、礼法...
これらに全力で取り組み、挑戦し続ける事で育つ「突破する」「問い続ける」「つながる」3つのチカラ。
「聖徳の子」が、どんな時も「あきらめない」理由がそこにあります。

1

突破するチカラ

中学受験対策コース別授業

勉強合宿

各種検定

◆漢字検定 ◆英語検定 ◆算数検定



勉強合宿

2

問い続けるチカラ

問題解決学習

総合学習活動

各種コンクール



問題解決学習

3

つながるチカラ

異年齢とつながる明和班活動

世界とつながるグローバル教育

伝統文化とつながる小笠原流礼法



シンガポール修学旅行



コース別授業



世界遺産「富岡製糸場」見学



小笠原流礼法

6年間の成長＋中学受験サポート

本校では児童の6年間の成長を、1・2年生の低学年、3・4年生の中学年、5・6年生の高学年に分けてとらえています。低学年では、くり返し練習したり覚えたりすることを通して、学習習慣・生活習慣の基盤づくりを行います。中学年では、低学年で培った力をもとに、より発展させた学習活動に取り組みます。4年生からは、中学受験を意識した「実力テスト」があります。高学年では、年3回の実力テストや、その結果をもとにした個人面談が行われます。普段の授業では、学級での話し合いや学び合いにより、クラスメートとの交流の中で学力を伸ばします。その中学年と高学年の橋渡しをするのが、4年生で参加する2泊3日の「勉強合宿」です。この合宿をきっかけに、高学年の学びへと意識を高めていきます。

おもな合格中学校

※2020～2024 合格実績

- 筑波大学附属駒場中学校
- 早稲田中学校
- 昭和学院秀英中学校
- 立教新座中学校
- 開成中学校
- 白百合学園中学校
- 芝浦工業大学柏中学校
- 開智中学校
- 桜蔭中学校
- 豊島岡女子学園中学校
- 県立千葉中学校
- 江戸川学園取手中学校
- 麻布中学校
- 渋谷教育学園幕張中学校
- 県立東葛飾中学校
- 茗溪学園中学校
- 女子学院中学校
- 市川中学校
- 浦和明の星女子中学校
- 光英VERITAS中学校
- 慶應義塾中等部
- 東邦大学附属東邦中学校
- 栄東中学校
- ほか

週授業時数 (1単位時間＝45分間) ※今後変更することがあります。

		国語*	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭*	体育	英語	道徳	礼法
高 学 年	6年	5	3	6	4		2	2	1	3	2	1	1
	5年	5	3	6	4		2	2	1	3	2	1	1
中 学 年	4年	7	3	7	4		2	2		3	2	1	1
	3年	8	3	7	3		2	2		3	2	1	1
低 学 年	2年	9		5		2	2	2		3	2	1	1
	1年	9		5		2	2	2		3	2	1	1

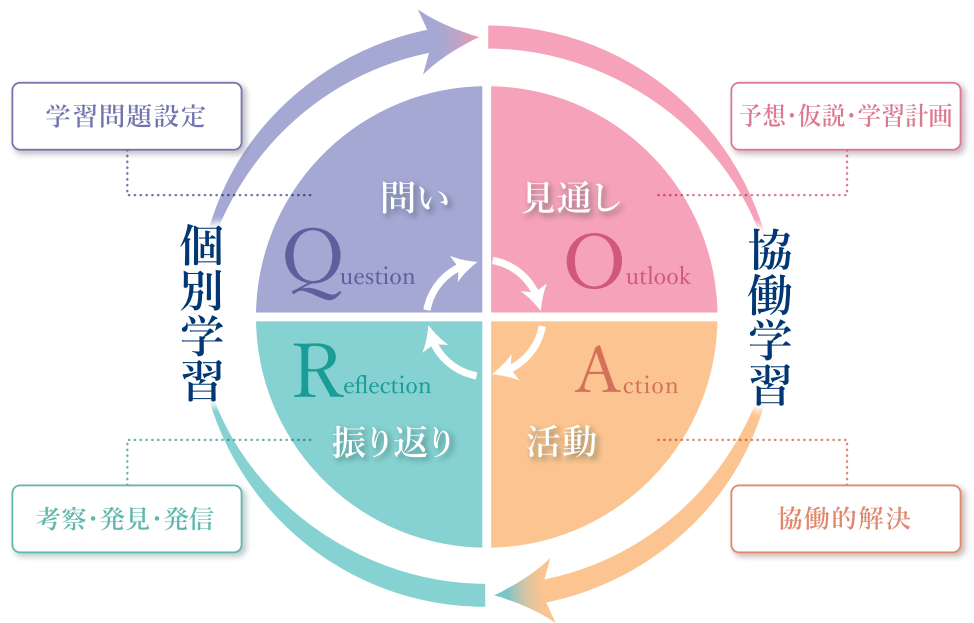


コース別 算数*	コース別 国語*	聖徳 タイム*	委員会・ クラブ	特記 事項	読書 感想文*	漢字 検定	算数 検定	学力 テスト	実力 テスト*	個人 面談
1	1		1	光英VERITAS 中学校説明会 優先入学選考	5枚	準2級 (高校在学レベル) 3級 (中学卒業レベル) 4級 (中学在学レベル)	6級 (小6レベル /希望者)	2月	5月 9月 10月	6月 9月 (11月)
1	1		1	光英VERITAS 中学校説明会 シンガポール 修学旅行 (4泊5日) 英語特別授業	5枚	5級 (小6レベル) 6級 (小5レベル)	7級 (小5レベル)	1月	5月 10月 1月	6月 11月
			1	光英VERITAS 中学校説明会 勉強合宿 (2泊3日) 3学期コース別 開始	4枚	7級 (小4レベル)	8級 (小4レベル)	2月	1月	6月
		1		iPad購入	4枚	8級 (小3レベル)	9級 (小3レベル)	2月		6月
		1		iPad貸出	3枚	9級 (小2レベル)	10級 (小2レベル)	2月		6月
		1		iPad貸出	3枚	10級 (小1レベル)	11級 (小1レベル)	2月		6月

*国語は毛筆書写を含む/書写・家庭科は隔週/コース別授業は4年3学期から6年2学期まで/聖徳タイムは行事などの特別活動/読書感想文は400字詰め原稿用紙使用

問題解決学習〈QOARサイクル〉

「なんで?」「どうして?」。幼い子どもが繰り返し使う言葉です。学びとは本来、欲求であり、喜びを伴います。学ぶ楽しさを知ることが、「生涯学び続けるチカラ」を身につける近道です。そのため本校が取り入れているのが「問題解決学習」です。問題解決学習とは、教師と子どもたちとの対話の中から生まれた「問い」への解決を中心に行う学習のことです。一方的な講義ではなく、自ら問い、考え、仲間とトライアンドエラーを繰り返しながら答えを得ること。それはひとつの「答え」以上の生きた知恵・経験となり、思考力を育て、新しい時代を生き抜く力になります。



QOARサイクル

本校の授業は問題解決力を養う「QOARサイクル」で構成しています。これは「問い」を立て、「見通し」を持ち、話し合い等の「活動」を経て答えを導き出し、「活動」に対する「振り返り」を行うというものです。思考力が鍛えられ、応用力や表現力が身につきます。

国語科

Japanese

自分の考えをしっかりと伝えるためには、言葉を適切に使用しなければなりません。そのためには、まず語彙を増やしていくことが大切です。低学年からさまざまな言葉に出会い、理解し、使うことで、「伝える力」を育てます。高学年では「討論」や「発表」を通して磨きをかけます。



理科

Science

本校の敷地内には教科書に出てくる樹木をはじめ、多様な植物が植えられています。充実した環境下で行う観察や実験がもたらすのは感動です。子どもたちは目を輝かせながら、科学的に思考する力を深めています。実験・観察結果はiPadを使って、クラスで共有します。



英語科

English

文法的に100点満点でなくとも、お互いに会話を「類推」することで意思疎通は図れます。スキルよりも大切な「誰とでも会話してみよう」というマインドを育てられるよう、外国人の先生との会話にフォーカスしながら授業を進めていきます。



算数科

Mathematics

子どもたちの「なるほど!」の声を引き出すために、解答までのプロセスを大切に授業を行っています。電子黒板や手づくり教材を使用して、算数の楽しさを伝えていきます。数量感覚を鍛えるため、身近なものの長さや重さ、広さなどを問う機会も設けています。



社会科

Social Studies

社会科は暗記科目と思われがちですが、これからの社会を担う当事者として、思考力の試される教科です。授業では、時に身近な暮らしをヒントに課題に迫り、「問い」「調べ」「考え」「表現」しながら社会への関心を深めていきます。



《低学年時間割例》

	月	火	水	木	金	土
	朝会		学級活動/朝読書			
1時間目	道徳	算数	聖徳タイム	図工	算数	国語
2時間目	体育	英語	音楽	図工	体育	算数
	中休み					
3時間目	礼法	書写/国語	体育	英語	図書	音楽
4時間目	国語	書写/国語	算数	国語	国語	会食 そうじ
	会食(かいしょく) 昼休み/そうじ					
5時間目	国語	生活	国語	算数	生活	
	帰りの会					
	【放課後スクール】机上学習/プログラム/放課後あずかり					

《高学年時間割例》

	月	火	水	木	金	土
	朝会		学級活動/朝読書			
1時間目	道徳	算数	国語	社会	算数	体育
2時間目	算数	理科	社会	礼法	英語	コース別国語
	中休み					
3時間目	理科	社会	図工	書写/国語	音楽	コース別算数
4時間目	理科	英語	図工	書写/算数	理科	会食 そうじ
	会食(かいしょく) 昼休み/そうじ					
5時間目	委員会/クラブ	国語	算数	体育	算数/家庭	
6時間目	国語	体育	音楽	算数	国語/家庭	
	帰りの会					
	【放課後スクール】プログラム/放課後あずかり					

音楽科

Music

「こんな風に歌いたい」といった子どもの想いを大切に、音楽を愛する心を育てます。思考力や表現力も身につく、リズムや旋律の創作は大人気の時間です。「卒業演奏」は全員でクラシックに挑戦。共に演奏する喜びが得られます。



図画工作科

Arts and Crafts

デジタルネイティブの子どもたちにとって、手で描く・つくるアナログな活動は、小学生時代にぜひ体験させたい活動です。造形的なスキルの習得はもちろん、体験型のグループ学習を取り入れることで、コミュニケーション能力も育てます。



生活科

Life Studies

自立への基礎を養い、楽しい学校生活の基盤を育む教科です。生き物や植物の観察、郵便局のお仕事体験、「豆まき集会」などの伝統行事を自主企画・運営するなど、「心が動く体験」を通じてものを知ることを大切にしています。



道徳科

Moral Studies

道徳の授業で大切にしているのは、教材に登場する人物の言動や出来事にどれだけ想像力を働かせられるかということです。対話や役割演技を通じて自分や友だちの考えと出会いながら、よりよく生きるための想像力を育てています。



家庭科

Home Economics

生活を工夫し、生きる力を養うのが家庭科です。衣食住はもちろん、家庭経営の基礎となる金銭感覚など、男女共に日常生活に必要な知識や技術を幅広く学びます。また、つくったものを誰かに喜んでもらう楽しさも経験できます。



体育科

Physical Education

体力の向上を図るなかで、大切にしているのは「できた」という達成感です。また、ペアやチームでの取り組みを通して、互いに「認め合い」「励まし合い」「協力し合う」ことで、心身共に健康な生活を営む態度も育てています。



プログラミング

Programming

2020年からプログラミング教育が必修化されました。意図した動作をさせるために試行錯誤しながらプログラムを作成していくなかで、論理的思考力や、課題解決スキル、さらにはICT活用能力の育成を図っています。これからの社会を生きていく上で、必須のスキルです。



グローバル教育



グローバル社会では、自身のアイデンティティを保ちながら、多様な価値観をもつ人たちと共に問題解決に挑む力が求められます。さらに、環境問題など世界共通の課題に目を向ける広い視野も必要です。聖徳のグローバル教育は1年生から始まる英語の授業を中心に、日本文化の理解を深めて世界に発信する力や、持続可能な社会の実現に向けて取り組む力など、世界でリーダーシップを発揮するための総合力を育てています。



シンガポール修学旅行に向けた英語の名刺づくり

1年生から“使える英語”に親しみ 生涯学習の礎を築きます。

加速度的に進展するグローバル化への対応策のひとつとして、小学校外国語教育の重要性や期待が増えています。本校においても英語教育を重視し、独自のカリキュラムに則り、本校開校以来、1年生より週2時間の授業を行っています。子どもたちは早くから英語に触れることで、異文化・異言語をもつ人々と共に生きるための基礎を身につけます。低学年から英語を使った交流体験をすることは、使える英語の楽しさを実感し、生涯学習としての英語学習の基盤づくりにもつながります。また、英語教育集大成の一環として実施する5年生のシンガポール修学旅行の感動体験は、他校に類を見ない教育活動です。

これらの聖徳英語教育は小学校の枠に留まらず、聖徳大学教授をはじめ、英語教育に長年携わってきた者も含めたプロジェクトチームが一体となって支えています。一歩先のグローバル教育へ、大学附属小学校ならではの取り組みです。



聖徳大学附属小学校
英語教育プロジェクト
ワーキンググループリーダー
聖徳大学 特命教授

一ノ瀬 喜子 先生

シンガポール修学旅行

日本とは異なる自然や文化、そして本物の英語に触れるという目的のもとに、シンガポールへの修学旅行を取り入れています。地元の名門小学校の児童たちと交流を深めることで、より実践的に国際感覚を高めることができます。

※5年生の春休み



英語

修学旅行に向けた特別授業

5年生では、通常の授業に加え、修学旅行準備レッスンを実施します。シンガポールへの修学旅行が、児童にとって、英語使用の良い機会となり、自信をつけ、帰国後も積極的に英語学習に取り組むマインドを育てることが狙いとなります。旅先で起こりうる状況設定 (real situation) し、目的に応じた会話や読み書きに挑戦。例えば、空港での入国審査、シンガポールの地図を使用した道案内、教材のドル札を使用した買い物、現地校での授業体験や交流に備えての英語での折り紙の教え方など。聖徳の児童として礼儀正しい丁寧な英語表現や態度も同時に学んでいきます。



オンライン交流会

シンガポールの小学校とオンライン交流も行っています。事前に日本の文化について調べ、理解を深めたうえで、英語で堂々とプレゼンテーションする姿がありました。



英検(実用英語技能検定)

「英検」は、自分自身の英語レベルを確認でき、英語学習の励みにもなる、取り組みやすい検定です。また、中学入試で加点されたり、試験本番の雰囲気味わえたりするメリットもあります。「英検」は同じ学年でも受験級が異なることが多いので、希望者のみが受験する仕組みになっています。



【英検2級】
和田 祥裕くん
※2年時合格

「みどりの小道」環境日記コンテスト

「みどりの小道」環境日記コンテストでは、7月から8月にかけて8週間、「環境問題」についての日記を書きます。日常生活の中から気づいたこと、疑問に思ったことなどを、枠の中に記します。「食品ロス」「ゴミの分別」「ゴミのポイ捨て」など身近な問題をただ書くだけだった児童も、書き進めるうちに、「どうしたら解決できるか」と、考えるようになります。「環境問題」に対して、意識を高める効果が得られるのです。



「みどりの小道」環境日記コンテスト 金賞・外務大臣賞 大坂 樹名さん(中央)

「環境日記」から始まるSDGs

「環境日記」で得られた小さな気づきは地球規模の問題を考える契機となり、SDGsにつながる多くの学びを得ています。そのほかにも、「食品ロス」をテーマとした特別授業やSDGsを推進しているさまざまな製品や取り組みを紹介する「エコプロ展」に参加し、そこで得られた成果をポスター発表するなど、持続可能な社会の実現につながる教育を行いながら、子どもたちの広い視野と可能性を育てています。



4年生によるSDGsポスター発表の様子

聖徳オリジナルカリキュラム

どんなに学力を身につけても、人はひとりで生きていくことはできません。多様な考えを持つ人たちと互いを認め合い、助け合っていくために、建学の精神「和」に基づいて生まれたのが、聖徳のオリジナルカリキュラムです。そこで学ぶのは、相手を思いやる気持ちやリーダーシップ、豊かな感性です。それは「生涯学び続けるチカラ」を育むうえで、人間力の基礎となっていきます。

小笠原流礼法

日本伝統の「小笠原流礼法」を取り入れ、人を大切に思い、自分を律する心を育てています。

開校以来行っている「小笠原流礼法」の授業は、人を大切に思い、自分を律する心を育むための時間として位置づけられている聖徳の伝統です。美しい姿勢に始まり、TPOに応じたお辞儀や挨拶、公共の場所におけるマナーや食事作法など、幅広く学びます。礼儀作法は習慣であり、一朝一夕に身につくものではありません。1年生から週1時間、6年間を通じてしっかりと身につけることで、生涯にわたる力になっていきます。



障子の開け閉め(あけて)



入り口での立礼

礼法許状「若葉の伝」を授与



6年間の授業を終えると卒業時には全員、小笠原流礼法宗家より、礼法許状「若葉の伝」が授与されます。

小笠原流礼法宗家
小笠原敬承齋先生



伝統行事

「和」の心を育む教育活動として、日本の四季を意識した伝統行事を重視しています。こいのぼりや七夕まつり、ひなまつりなどには、日本人の繊細な感性や感謝の心が宿っています。こうした日本の伝統的な文化を理解・体感することもまた、成長期における子どもたちの心の土台を養っています。



3月/ひなまつり集会



5月/こいのぼり集会

てのひら文庫賞

毎年応募している「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクールでは、10年連続で最優秀校賞を受賞。図書の時間や休み時間、登下校の時間などに、日々の読書への前向きな姿勢が見られます。



漢字検定

全児童が受験する漢字検定では、高校在学レベルである準2級合格者もいるほど。漢字の先取り学習や毎週の漢字テストにより反復する努力と学ぶ意欲が身についています。



図書

いつでも1冊の本を身近に置き、読書をすることをすすめています。100冊チャレンジ、10,000ページ読破。本好きな子は学力形成と人格形成とが統合されやすいのです。語彙も増え、言葉が豊かになります。



書写

日本の言語文化への関心を深め、豊かな心を育む特別授業として、全学年を対象に毛筆による書写授業を行っています。隔週2時間、正しい筆の使い方を学びながら「書」という美をたしなみます。



明和班活動

上級生を敬い、下級生をお世話する
「明和班」活動でリーダーの心を養っています。

本校の教育の大きな特色のひとつに「明和班」活動があります。明和班とは、1年生から6年生までの10人程度で構成される縦割りグループのこと。毎日の会食や運動会、校外学習、聖徳の子農園での作業など、1年を通じて行動を共にします。下級生は頼れる存在に安心感と憧れを抱き、上級生になるにつれ、自然とリーダーシップを発揮していきます。兄弟姉妹のような関係の中で、助け合いの精神や思いやりの心を学んでいます。

取り組み内容

毎日の会食や運動会などの年中行事、校外学習などを明和班単位で行います。会食では、高学年がご飯や汁物の配膳を率先して行い、好き嫌いのある低学年の子を励ますなどしています。様々な活動を通じて、大人が意図しないところで高学年の子どもたち、低学年の子どもたちが育ち合うのが、明和班の大きな特徴です。班長としての心構えは毎年「引き継ぎ集会」で6年生から5年生へ受け継がれます。



1～6年生までで構成される「明和班」は、同じメンバーで1年間仲良く活動していきます。



明和班 顔合わせ集会



運動会の明和班リレー



オリエンテーリング大会



引き継ぎ集会

一輪車

一輪車に乗ると、頭と体が発達して、自分に自信がもてるようになります。1人1台一輪車を用意し、低学年では中庭で、中学年以上は校庭で練習に励みます。全く乗れなかった子ども、友だち同士で支え合い、励まし合ううちに、いつの間にかスイスイ乗れるようになります。



一輪車パレード



望月校外学習

自然豊かな環境で行われる宿泊学習です。全校児童が参加し、上級生が下級生をサポートしながら、協力して活動に臨みます。



じきどう 食堂での会食

会食(給食)は全校児童がそろい、明和班ごとに上級生が配膳や下級生のお世話をします。食べ物の栄養についての話を聞いたり、有田焼の食器を使用したりするなど、食育も大切にしています。



親子音楽観賞会

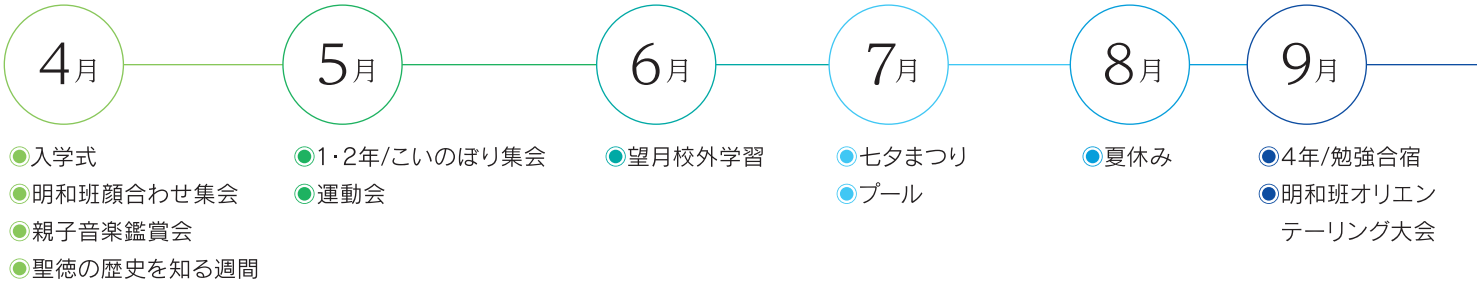
国内外の一流アーティストによる演奏や演劇を、年3回親子で鑑賞します。子どもたちが「本物」と出会う時、心は動き、感受性が開花します。その感動の瞬間をぜひ、親子で共有してください。





聖徳の年間行事

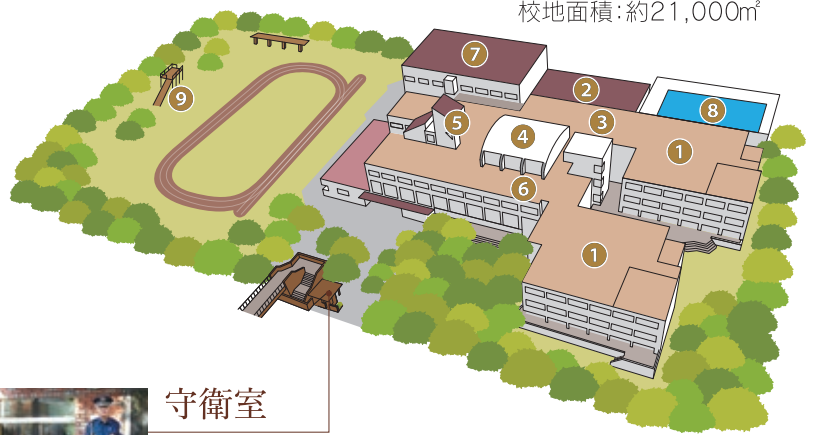
たくさんの行事を通じて、みんなと協調し、やり遂げる大



緑に囲まれた学習環境

- | | | |
|--------|----------------|-----------|
| 1. 教室 | 4. ふれあい広場 | 7. 体育館 |
| 2. 食堂 | 5. 図書室 | 8. プール |
| 3. 礼法室 | 6. コンピューター学習教室 | 9. アスレチック |

校地面積: 約21,000㎡



教室

横のつながりをつくりやすく教師の目をクラスの外にも行き届きやすくするために、子どもたちが学ぶ普通教室は壁で仕切らず、ワークスペースでつながっています。



1

食堂

ここで毎日、学年枠を超えて活動する「明和班」ごとにテーブルを囲んで会食をとりま。礼法で学ぶマナーを、会食で実践しています。



2

※感染症対策として、教室で会食をいただくことがあります。

礼法室

引き締まった気持ちで授業に臨めるよう、玄関から床の間、障子、土壁にいたるまで正式な日本建築でつくられています。



3



守衛室

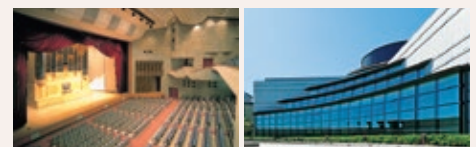
校門では守衛さんが24時間、安全を守っています。



聖徳の子農園(隣接地)

勤労を体感する教育の一環として、専用農園にて明和班で作物を育てています。みんなで力を合わせて協働し、協調性を養います。

年間を通し、聖徳大学の施設も利用しています。





*行事の時期は、前後することがあります。

切さを学んでいきます。

10月

- 親子音楽鑑賞会
- 聖徳祭舞台発表

11月

- 一輪車大会
- 感謝の集会

12月

- 1・6年/
行く年を送る集会

1月

- 書き初め展
- 親子音楽鑑賞会
(吹奏楽の夕べ)

2月

- 1・2年/豆まき集会
- 聖徳祭展示発表
- 5・6年/卒業生を送る
スポーツ大会
- 親子一日入学
- 卒業生を送る集会

3月

- 1・2年/ひなまつり集会
- 5・6年/引き継ぎ集会
- 卒業證書授与式
- 5年/
シンガポール修学旅行

聖徳の子の一日 (1年生の場合)

授業や会食、休み時間など、子どもたちは毎日楽しく笑顔で生活しています。

7:00～ 開門

8:15～ 朝の会

8:30～ 1時間目

9:20～ 2時間目

10:05～ 中休み

10:25～ 3時間目

11:15～ 4時間目

12:10～ 会食

12:45～ 昼休み

13:10～ 掃除

13:20～ 5時間目

14:10～ 6時間目

※1,2年は下校もしくは机上学習

15:10～ アフタースクール

登校



毎朝校長先生が正門で子どもたちに声をかけます。守衛さんが24時間体制で学校を見守ってくれるので安心です。

授業



広い机に向かってのびのびと学習します。

会食



全校児童が明和班ごとに食堂で会食します。お兄さんお姉さんにお世話をしてもらいながら楽しく食事します。

朝の会/朝読書



心を合わせるため、歌を歌います。1分間スピーチでは、自己紹介をしたり自分の考えを発表したりします。

中休み



中庭で一輪車の練習

下校



教員が最寄りの駅まで引率します。

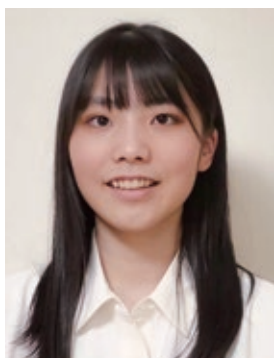
卒業生からのメッセージ

体に染み付いた礼法は
これからも私の財産です。

東京大学 理科一類

(聖徳大学附属女子中学校・光英VERITAS高等学校卒業)

今に活かされている学びと言えば、
なんと言っても礼法です。姿勢やお辞儀に始まる作法、日本文化や歴史に関する知識、相手を大切にしたい心遣いなど、他の小学校ではあまり経験できないであろう、貴重な学びを得ました。私は附属中学校に内部進学しましたが、面接の指導にあたってくださったのも礼法の先生です。今も「お辞儀が綺麗だね」と言われることが多く、大切な財産になっています。



Y.O.さん

「導く力」を養ったのは明和班活動でした。

東京工業大学 工学院

(聖徳大学附属女子中学校・高等学校卒業)

聖徳の魅力のひとつが、縦割りの明和班活動です。会食や校外学習など、班ごとに活動する機会が多く、1年を通して絆を深めます。上級生になると、かつて自分がしてもらったように下級生のことを優しく見守り、導く力も自然と身についていきます。そのほか、授業ではたくさんの楽器に触れることのできる音楽が大好きでした。親子音楽鑑賞会で見たオーケストラの演奏や歌にはとても感動し、今でも心に残っています。

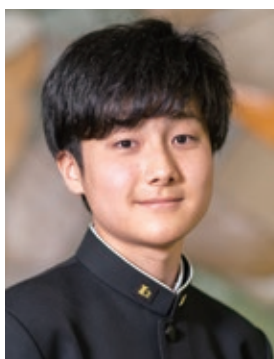


M.O.さん

友達と一緒にだったからこそ
受験勉強を頑張ることができました。

開成中学校

卒業生の合格実績が僕の聖徳を志望する動機のひとつであったように、聖徳ではほとんどの人が中学受験を視野に入ります。そのため初めから友達同士で切磋琢磨できる環境があり、特に4年生での勉強合宿を経て、学年全体で中学受験に向かう環境が一気に整います。難しい問題に楽しみながらチャレンジできる「コース別授業」と共に、中学受験を最後まで諦めず走り続ける原動力になりました。



R.K.さん

幼いうちから身につけた礼法は
就職活動にも活かしました。

慶應義塾大学 法学部卒業

(聖徳大学附属幼稚園卒園)

私は大学4年で司法試験に合格し、
現在裁判官として働いています。聖徳を卒業した後、就職活動や目上の方との食事など様々な場面でテーブルマナーや人の話に耳を傾ける姿勢などの聖徳で学んだことが活かしました。礼法や明和班での活動は、人と関わり合いながら生きていく上での土台となっています。また、教育のレベルも高く、特にコース別授業では中学受験を見据えた学習をすることができました。



K.M.さん

小学校の授業で興味を持った英語が
私に夢をくれました。

東京外国語大学 言語文化学部 英語専攻

当時では珍しかった小学校での英語の授業は、私の楽しみのひとつでした。本校での経験をもとに国際的な中学校に進学。高校では2年間カナダ留学をすることもできました。今の夢は英語教育に携わること。聖徳での授業が私に英語への興味を引き出してくれました。「漢検」や芸術鑑賞など、様々な経験ができる聖徳は、英語に限らず、それぞれの一生モノの好きなこと、得意なことを見つけられる場所だと思います。



S.T.さん

共に頑張る仲間と、
励ましてくれる先生がいます。

女子学院中学校

聖徳で一番印象に残っているのは、吹奏楽クラブでの活動です。それまで知らなかった、努力することの大変さや大切さを学ぶことができました。進学にあたっては同級生も受験をする子が多く、良い意味でお互いに意識することができたと思います。また、高学年の先生方は受験に協力的な先生が特に多く、担任の先生からの褒め言葉はいつも大きな励みになっていました。今でも感謝しています。



R.I.さん

放課後スクール



希望者には放課後スクールを開催。

児童をお迎えまで(月～金、最長19時まで)お預かりいたします。

保護者の要望から始まった放課後スクール。それは、机上学習(1・2年生)と、業務委託の「聖徳アフタースクール」からなります。子ども向け体験学習に定評のある(株)プラスワン教育が運営する「聖徳アフタースクール」は、プログラムと「放課後あずかり」で構成。プログラムには、かけっこ、バスケットボール、ゴルフ、英語、プログラミングなどがあり、児童は楽しいひと時を過ごしています。



自分の国旗づくり

※長期休業中にも「聖徳アフタースクール」(8:00～17:00)があります。(サイエンス教室など)

スケジュール

	～14:55	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:10	18:10～19:00
内容	机上学習 (1・2年)	プログラム①	プログラム②	放課後あずかり① ・ライトミール ・宿題 ・読書 ・室内遊び	放課後あずかり② ・宿題 ・読書 ・室内遊び
	平常授業 (3～6年)				

コース選択表

曜日	プログラム①	プログラム②	放課後あずかり①	放課後あずかり②
月	かけっこ教室	運動教室	放課後あずかり①	放課後あずかり②
火	バスケットボール教室①	バスケットボール教室②		
水	ゴルフ教室	英語教室		
木	語彙力・表現力UP教室①	語彙力・表現力UP教室②		
金	プログラミング教室①	プログラミング教室②		

※机上学習は、自主学習の支援等をする時間帯です。 ※時刻・内容等、今後変更する場合があります。



サッカー



プログラミング



スキースクール※冬休み

40周年にむけて

令和8年度に、本校は創立40周年を迎えます。これは2回目の二十歳を迎えることともいえます。この機会に聖徳教育の原点を振り返るとともに、未来を見据えた変革のチャンスとしていきたいと考えています。

卒業生数
2,356人
(令和5年度卒業生まで)

沿革

- ▶ 昭和8年度(1933年度)
学園創立者、川並香順先生・孝子先生が
聖徳家政学院と新宿幼稚園を創立
- ▶ 昭和32年度(1957年度)
財団法人聖徳学園は学校法人東京聖徳学園となる
- ▶ 昭和61年度(1986年度)
聖徳学園短期大学附属小学校開校式・入学式
(1年37名、2年9名、3年7名、4年16名、計69名)
ブロンズ像“HANASAKIMORI”除幕式/
望月校外学習<4泊5日>を実施
- ▶ 昭和62年度(1987年度)
5年生が修学旅行で初めてシンガポールへ
- ▶ 昭和63年度(1988年度)
壁画“生命の樹”完成
- ▶ 平成2年度(1990年度)
“聖徳大学附属小学校”に校名変更
- ▶ 平成5年度(1993年度)
聖徳学園創立60周年記念アスレチックコーナー開設
- ▶ 平成7年度(1995年度)
「漢検」実施(以後毎年)
- ▶ 平成8年度(1996年度)
創立10周年記念式典挙行
図書室がリニューアルされ“夢のある図書室”に
- ▶ 平成9年度(1997年度)
「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール初参加
(以後毎年)
- ▶ 平成12年度(2000年度)
「みどりの小道」環境日記コンテスト第2回初参加
(以後毎年)
- ▶ 平成16年度(2004年度)
制服デザインを一新(花井幸子先生デザイン)
- ▶ 平成17年度(2005年度)
創立20周年記念式典挙行
- ▶ 平成20年度(2008年度)
算数科コース別授業開始(週1回)
- ▶ 平成23年度(2011年度)
4年勉強合宿(以後毎年)／「てのひら文庫賞」10年連続最優秀校
- ▶ 平成28年度(2016年度)
創立30周年記念式典挙行
- ▶ 令和2年度(2020年度)
業務委託による「聖徳アフタースクール」開校
- ▶ 令和5年度(2023年度)
聖徳祭舞台発表を聖徳大学の川並香順記念講堂にて開催
- ▶ 令和8年度(2026年度)
創立40周年記念式典(予定)

- | | | | |
|--------------|------------------|-------------|------------------------------|
| 聖徳大学大学院 | 光英VERITAS高等学校 | 聖徳大学附属幼稚園 | 聖徳大学八王子幼稚園 |
| 聖徳大学教職大学院 | 光英VERITAS中学校 | 聖徳大学附属第二幼稚園 | 聖徳大学多摩幼稚園 |
| 聖徳大学 | 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 | 聖徳大学附属成田幼稚園 | 生涯学習
聖徳大学オープン・アカデミー (SOA) |
| 聖徳大学短期大学部 | 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 | 聖徳大学附属浦安幼稚園 | |
| 聖徳大学幼児教育専門学校 | 聖徳大学附属小学校 | 聖徳大学三田幼稚園 | |

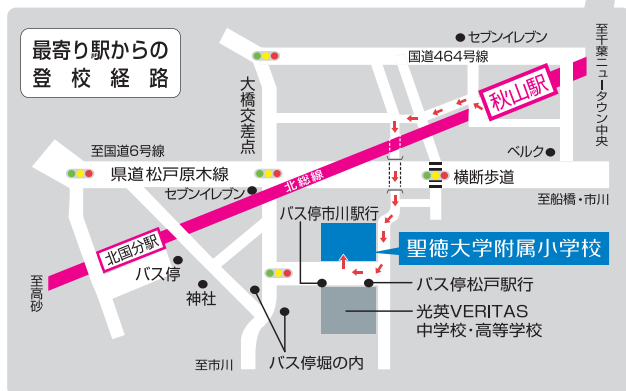
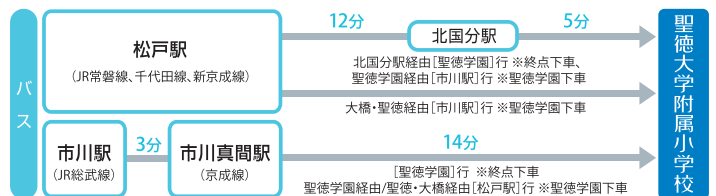
交通機関のご案内



保護者の自家用車による送迎も可能です。

学園直通バスがあるから便利

JR「松戸」駅、「市川」駅、京成線「市川真間」駅、北総線「北国分」駅から、登校時には学園直通のバスが出ています。また下校時にも各学年の下校時刻に合わせて、それぞれの駅へバスが運行しているので、通学が非常に便利です。



聖徳大学附属小学校

SEITOKU 〒270-2223 千葉県松戸市秋山600 TEL.(047)392-3111代表 FAX.(047)391-4519
E-mail shogaku@wa.seitoku.ac.jp

<https://seitoku-primary.ed.jp/>

聖徳附属小 検索

